

## アジアタ・グループ (AXIA)

テレノールのアジア事業と合併交渉中。成長著しい新興国市場を押さえて世界的競争に打ち勝つことを目指す。  
マレーシア | 通信事業者 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG AXIATA :MK | REUTERS AXIA.KL

- 2019/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 3.5%増の 59.49 億 MYR、EBITDA が同 18.9%増の 24.22 億 MYR と好調な内容だった。
- デジタル通信事業、インフラ事業ともに新興国の成長が業績に貢献。デジタル事業は Axiata Digital の事業資産の選択と集中を進めた。
- 5/6 にテレノール (ノルウェー) のアジア事業との合併交渉が発表された。新興国市場を押さえて世界的競争に打ち勝つことを目指す。

### What is the news ?

5/28発表の2019/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比3.5%増の59.49億MYR、EBITDAが同18.9%増の24.22億MYR、純利益が前年同期の▲1.47億MYRから7.09億MYRへ黒字転換となった。通信事業のXL(インドネシア)、Robi(バングラデシュ)、Smart(カンボジア)、Dialog(スリランカ)、インフラ事業のedotco(インフラシェアリングのタワーサービス)、およびデジタル事業が増収増益に寄与した。M1(シンガポール)の株式売却益16.5億MYRもあり、純利益が増額となった。

セグメント別の概要は以下の通り。デジタル通信事業は、Celcom(マレーシア)とNcell(ネパール)が減収減益だったものの、XLが一貫したデータ主導戦略を展開し、サービス収入が同12%増、純利益が同3.8倍に拡大した。その他子会社の売上高も、Smartのデータ収入が同33.7%増、Dialogが同11.2%増、Robiのデータ収入が同32.1%増と好調だった。デジタル事業は、非中核デジタル資産と位置付けるDigital Venturesを1.40億USD(3.02億MYR)で外部のファンドに売却し、中核デジタル事業と位置付けるAxiata Digital(電子ウォレットサービスのBoost、およびグローバル展開するAPIプラットフォームのAPIgateを含む)に対して三井物産から戦略的少数株主として出資を受けることに成功した。インフラ事業は、edotcoの売上高が同25%増の4.39億MYR、調整後(基礎的)EBITDAが同46%増と好調だった。ミャンマー、パキスタン、およびバングラデシュを中心にタワー数が同12%増(18,789塔)となったことが貢献した。

### How do we view this ?

5/6に同社グループとテレノール(ノルウェー)のアジア事業との合併交渉の件が発表された。テレノールが56.5%、同社が残り43.5%を出資する新会社をマレーシアに設立する方針であり、実現すれば東南・南アジアの新興国9カ国にまたがる巨大通信グループが誕生する。同社のガザリCEOは、合併により「技術、人材、イノベーションを巡る世界的な競争に勝つ機会を得る」と述べた。新会社はマレーシア、インドネシア、カンボジア、ミャンマー、バングラデシュ、パキスタンなど成長市場9カ国で3億人の顧客を抱え、うち6カ国ではシェア1位となる。2019/12通期の市場予想は、売上高が前期比3.7%増の247.76億MYR、当期利益が前期の▲50.34億MYRから12.26億MYRへ黒字転換である。

### 業績推移

※参考レート 1MYR=26.157円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万MYR)	21,565	24,402	23,885	24,776	25,799
純利益(百万MYR)	504	909	-5,034	1,226	1,355
EPS(MYR)	0.06	0.10	-0.56	0.14	0.15
PER(倍)	91.23	51.49	-	37.14	34.44
BPS(MYR)	2.63	2.73	1.93	2.00	2.07
PBR(倍)	1.98	1.90	2.70	2.60	2.51
配当(MYR)	0.08	0.09	0.10	0.10	0.12
配当利回り(%)	1.54	1.63	1.83	1.94	2.35

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR) **0.10** (予想はBloomberg)  
終値(MYR) **5.20** 2019/7/2

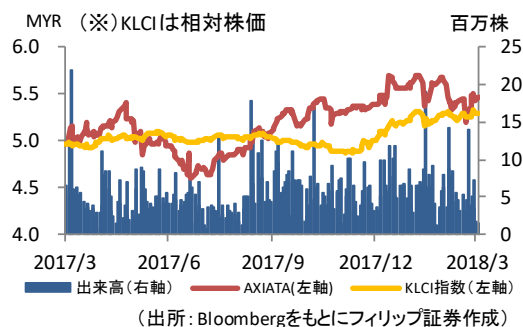
### 会社概要

1992年にテレコム・マレーシアの1部門「テレコム・マレーシア・インターナショナル」として設立。2008年にテレコムマレーシアから分離し、ブルサ・マレーシア証券取引所への上場を果たした。アジア最大の通信グループの1つで、モバイルネットワーク、通信インフラストラクチャーおよびデジタルサービスに多様な事業ポートフォリオを持ち、幅広い革新的な通信製品とサービスを提供する。

マレーシアの「Celcom」、インドネシアの「XL」、スリランカの「Dialog」、バングラデシュの「Robi」、カンボジアの「Smart」、ネパールの「Ncell」などのモバイル事業子会社およびインドの「Idea」、シンガポールの「M1」などの持分法適用会社を傘下に持つ。グループのインフラ企業「edotco」は、通信インフラストラクチャーサービスを提供し、約27,500カ所のタワーを持つ地域ポートフォリオを管理・運営する。2012年にインターネットベースのビジネスの急速な成長を捉えるために設立した「Axiata Digital」は、モバイルマネー、モバイル広告、電子商取引、エンターテインメント、教育など、需要が高まっている分野において、デジタル金融サービスの「Boost」、デジタル広告の「ada」、デジタルプラットフォームの「APIgate」をグローバル市場で展開している。

### 企業データ(2019/7/3)

ベータ値	1.63
時価総額(百万MYR)	47,286
企業価値=EV(百万MYR)	72,871
3か月平均売買代金(百万MYR)	26.7



### 主要株主(2019/7)

1.カザナ・ナショナル	(%)	36.93
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD		16.03
3.SKIM AMANAH SAHAM BUMIPUTERA		12.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

笹木 和弘  
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980  
増淵 透吾  
togo.masubuchi@phillip.co.jp  
+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>